

名前：

インターネットでニュースを見ることが出来る現在、新聞や雑誌は必要か。この問いには、2通りの考え方があるように思う。

一つは、インターネットでニュースが見られるという社会状況の中、新聞・雑誌は社会的に不必要で消滅してもいいのか、という意味での受け取り方である。もう一つは、インターネットでニュースを見ている個人にとって、新聞・雑誌は必要ないのか、という意味での受け取り方である。

前者には、私は断固として否と答えるし、この答えには多数のコンセンサスが取れると思う。インターネットという情報媒体を、全員が利用出来るわけでは、もちろんない。そこには世代間格差や経済格差が存在する。こうした状況下で新聞・雑誌を廃止することはインターネットを利用出来ない人から情報を得る機会を奪ってしまうことになる。それは情報化社会においてその人を不利な立場に置き、格差の再生産につながる恐れさえある。

以上の理由から、インターネットの完全普及が達成されない限り、新聞・雑誌の社会的意義は小さくはないと思う。

では、個人レベルではどうだろうか。インターネットでニュースを見られる人にとって新聞・雑誌は必要なのだろうか。私は、これは個人の判断の問題であると思う。私自身はインターネットで「グーグル」や「ヤフー」のトップページにあるニュースを見ることがあるが、毎日欠かさず新聞も読んでいます。前者にはその時々の話題を簡潔に伝えてくれることを、後者には政治的・経済的・社会的諸問題について識者の論考も交えた深く掘り下げた報道を、それぞれ期待するのだ。このように個々の情報媒体に違い役目を期待する人にとっては、インターネットが使えども、新聞・雑誌は依然として意義を持つ。だがインターネットで興味あるトピックを検索するなど、深い知識もそこから得ようとする人が新聞・雑誌を不必要とみなすのも当然ありえるだろう。

1800字